

食品安全情報（微生物） No.19 / 2024（2024.09.18）

国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部

<https://www.nihs.go.jp/dsi/food-info/foodinfonews/index.html>

目次

【[世界保健機関（WHO）](#)】

1. 国際食品安全当局ネットワーク（INFOSAN）2023年第4四半期報告（2023年10～12月）

【[米国疾病予防管理センター（US CDC）](#)】

1. 卵に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Enteritidis）感染アウトブレイク（2024年9月6日付初発情報）
2. デリミート（調理済み食肉）に関連しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクの患者数および死亡者数の増加を受け米国疾病予防管理センター（US CDC）が注意喚起を発表
3. デリカOUNTERで薄切りされた食肉製品に関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイク（2024年8月28日付更新情報）
4. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Altona、*S.* Cerro、*S.* Enteritidis、*S.* Indiana、*S.* Infantis、*S.* Johannesburg、*S.* Mbandaka、*S.* Typhimurium）感染アウトブレイク（2024年8月29日付更新情報）

【[欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE）](#)】

1. 食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF：Rapid Alert System for Food and Feed）

【[欧州食品安全機関（EFSA）](#)】

1. データに関する諮問グループ（AGoD）の2023年次報告書

【[アイルランド保健サーベイランスセンター（HPSC Ireland）](#)】

1. アイルランドの胃腸疾患および人獣共通感染症（リステリア症、2022年）

【[ドイツ連邦リスクアセスメント研究所（BfR）](#)】

1. 欧州の食品安全のための連携 — 欧州食品安全機関（EFSA）の加盟各国における Focal Point（窓口組織）の役割

【[ProMED-mail](#)】

1. コレラ、下痢、赤痢最新情報（43）（42）（41）（40）

【国際機関】

- 世界保健機関 (WHO: World Health Organization)

<https://www.who.int/en/>

国際食品安全当局ネットワーク (INFOSAN) 2023 年第 4 四半期報告 (2023 年 10~12 月)

INFOSAN Quarterly Summary, 2023 #4, October - December 2023

31 July 2024

<https://www.who.int/news/item/31-07-2024-infosan-quarterly-summary--2023--4>

食品安全事例

2023 年の第 4 四半期に国際食品安全当局ネットワーク (INFOSAN) 事務局は、世界保健機関 (WHO) 加盟の全ての地域の国・領土に関連した計 51 件の食品安全事例に対応した。このうち生物的ハザード関連の事例は 34 件で、その内訳は、リステリア (*Listeria monocytogenes*) (13 件)、サルモネラ属菌 (10 件)、大腸菌 (3 件)、セレウス菌 (2 件)、クロノバクター (*Cronobacter sakazakii*) (2 件)、クロストリジウム属菌 (1 件)、カビ (1 件)、黄色ブドウ球菌 (1 件) およびビブリオ属菌 (1 件) であった。また、化学的ハザード関連の事例は 8 件 (鉛 (2 件)、アフラトキシン (1 件)、カンナビジオール (CBD) (1 件)、シアン化物 (1 件)、ヒスタミン (1 件)、水銀 (1 件)、有機リン酸塩 (1 件))、物理的ハザード関連の事例は 7 件 (プラスチック (3 件)、異物 (3 件)、ガラス (1 件))、非表示のアレルゲン/成分に関連した事例は 2 件 (グルテン (1 件)、乳 (1 件)) であった。

本四半期に INFOSAN 事務局が対応した上記 51 件の事例に関連した食品カテゴリーは、乳・乳製品 (8 件)、スナック・デザート・その他の食品 (7 件)、果物・果物製品 (6 件)、魚・水産食品 (5 件)、食肉・食肉製品 (5 件)、野菜・野菜加工品 (5 件)、ナッツ・油糧種子 (2 件)、シリアル・シリアルベース製品 (2 件)、複合食品 (2 件)、乳幼児用食品 (2 件)、ハーブ・香辛料・調味料 (2 件)、澱粉質根茎類 (2 件)、アルコール飲料 (1 件)、ノンアルコール飲料 (1 件) の順に多く、残りの 1 件については食品カテゴリーが特定されなかった。

INFOSAN のメンバーおよび協力機関の積極的な関与により、これらの食品安全事例の 41%が欧州委員会 (EC) の「食品および飼料に関する早期警告システム (RASFF)」を介して、40%が INFOSAN 加盟各国の緊急連絡窓口 (ECP) および情報連絡窓口 (FP) を介して、また 19%が WHO の様々な経路を介して INFOSAN 事務局に報告された。

INFOSAN の能力開発活動 (タイトルのみ紹介)

- ガイアナの複数の国家当局とオンラインワークショップを開催
- アフガニスタンと入門セミナーをオンライン開催
- 米州地域の INFOSAN を強化するための 2023 年の地域会議をオンライン開催

○ アジア太平洋地域の INFOSAN を強化するための 2023 年の地域会議をハイブリッド開催

(食品安全情報 (微生物) No.5 / 2024 (2024.03.06)、No.23 / 2023 (2023.11.08)、No.13 / 2023 (2023.06.21)、No.6 / 2023 (2023.03.15)、No.2 / 2023 (2023.01.18)、No.18 / 2022 (2022.08.31)、No.15 / 2022 (2022.07.20)、No.5 / 2022 (2022.03.02)、No.26 / 2021 (2021.12.22)、No.20 / 2021 (2021.09.29)、No.15 / 2021 (2021.07.21)、No.5 / 2021 (2021.03.03)、No.4 / 2021 (2021.02.17)、No.25 / 2020 (2020.12.09)、No.23 / 2018 (2018.11.07)、No.12 / 2018 (2018.06.06) WHO 記事参照)

【各国政府機関】

● 米国疾病予防管理センター (US CDC: Centers for Disease Control and Prevention)
<https://www.cdc.gov/>

1. 卵に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイク (2024 年 9 月 6 日付初発情報)

Salmonella Outbreak Linked to Eggs

Posted September 6, 2024

<https://www.cdc.gov/salmonella/eggs-09-24/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/eggs-09-24/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/salmonella/eggs-09-24/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国食品医薬品局 (US FDA) は、複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Enteritidis) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

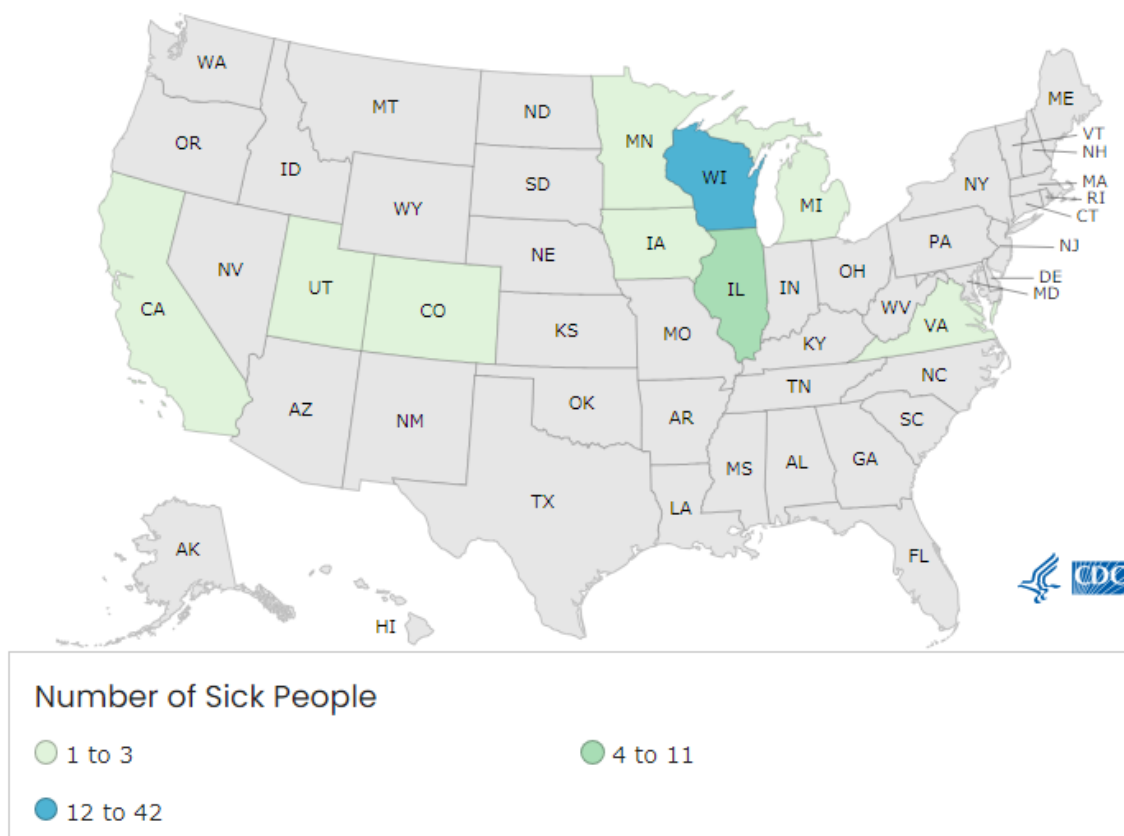
疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Milo's Poultry Farms 社が供給した卵がサルモネラに汚染されており、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

○ 疫学データ

2024 年 9 月 6 日時点で、*S. Enteritidis* アウトブレイク株に感染した患者が 9 州から計 65 人報告されている (図)。患者の発症日は 2024 年 5 月 23 日～8 月 10 日である。情報

が得られた患者 63 人のうち 24 人が入院し、死亡者は報告されていない。

図：サルモネラ (*Salmonella Enteritidis*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2024 年 9 月 6 日時点の計 65 人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである (n は当該情報が得られた患者の数)。

年齢 (n=65)	年齢範囲：2～88 歳 年齢中央値：55 歳
性別 (n=65)	56%：女性 44%：男性
人種 (n=62)	92%：白人 5%：アフリカ系アメリカ人または黒人 3%：アジア系
民族 (n=62)	94%：非ヒスパニック系

6% : ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。複数の患者が同じ飲食店での食事を報告した。これらの患者クラスターにより、可能性のある原因食品に関する手掛かりが得られることがある。互いに関連のない数人の患者が数日間に同じ飲食店での食事または同じ小売店での買い物をしていた場合、当該飲食店または小売店舗で汚染食品が提供・販売されていたことが示唆される。ウィスコンシン州保健局 (WDHS) は、卵を提供した飲食店に関連して 4 つの患者クラスターを特定した。

○ 検査機関での検査データおよび追跡調査によるデータ

本アウトブレイクの公衆衛生調査では、アウトブレイク患者を特定するために PulseNet (食品由来疾患サーベイランスのための分子生物学的サブタイピングネットワーク) のシステムを利用している。CDC の PulseNet 部門は、食品由来疾患の原因菌の DNA フィンガープリントの国内データベースを管理している。原因菌の分離株には WGS (全ゲノムシーケンシング) 法により DNA フィンガープリンティングが行われる。WGS 解析により、本アウトブレイクの患者由来検体から分離されたサルモネラ株が遺伝学的に相互に近縁であることが示された。この結果は、本アウトブレイクの患者が同じ種類の食品により感染したことを示唆している。

ウィスコンシン州農務・通商・消費者保護局 (WDATCP) は、患者が発症前に食事をした飲食店への卵の供給元に関する追跡調査を行った。追跡記録から、Milo's Poultry Farms 社が供給元であったことが示された。

FDA は同社への立ち入り検査を行い、複数の検体を採取した。FDA による分析の結果、同社の包装施設および産卵鶏舎から *S. Enteritidis* アウトブレイク株が検出された。

患者由来 65 検体から分離されたサルモネラ株について WGS 解析を行った結果、ナリジクス酸およびシプロフロキサシンへの耐性が予測された。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、本アウトブレイクの患者の治療に抗生物質が必要になった場合、一般的に推奨される一部の抗生物質による治療が困難になる可能性があり、別の抗生物質の選択が必要になることがある。

○ 公衆衛生上の措置

2024 年 9 月 6 日、Milo's Poultry Farms 社は卵の回収を開始した。CDC は、回収対象の卵を喫食・販売・提供しないよう注意喚起している

2. デリミート（調理済み食肉）に関連しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクの患者数および死亡者数の増加を受け米国疾病予防管理センター（US CDC）が注意喚起を発表

More illnesses and deaths in *Listeria* outbreak linked to deli meats is reminder to avoid recalled products

August 28, 2024

<https://www.cdc.gov/media/releases/2024/s0828-listeria-outbreak-deli-meats.html>

米国疾病予防管理センター（US CDC）は、デリミート（調理済み食肉）に関連して複数州にわたり発生しているリステリア（*Listeria monocytogenes*）感染アウトブレイクに関する食品安全警報（以下 Web ページ参照）を更新した。

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24.html>

○ 本警報の要点

- ・ 2024 年 8 月 8 日付更新情報以降に *L. monocytogenes* アウトブレイク株感染患者が新たに 14 人報告され、患者数は計 57 人となった。患者 57 人全員が入院し、死亡者は 9 人報告されている。
- ・ 新たな死亡者は 6 人で、州別内訳は、フロリダ（1）、テネシー（1）、ニューメキシコ（1）、ニューヨーク（1）およびサウスカロライナ（2）である。
- ・ 本アウトブレイクは、カンタロープメロンに関連した 2011 年のアウトブレイク以降では、最大規模のリステリア症アウトブレイクである。
- ・ 本アウトブレイクに関連して回収されている Boar's Head ブランドの食肉製品は保存可能期間が長いため、当該製品が自宅に保存されていないか確認すべきである。当該製品は、製品ラベルの USDA 検査印の内側に施設番号「EST. 12612」または「P-12612」が表示されており、販売期限が 2024 年 10 月までの製品も含まれている。
- ・ リステリアは低温に耐性があり、たとえ冷蔵温度下であっても、ミートスライサーなどの表面や食品中に生残する可能性がある。また、感染者によっては、リステリア症の症状を呈するまでに最長 10 週間かかることがある。

○ 消費者および事業者向けの助言

- ・ 回収対象のデリ製品（以下 Web ページ参照）は喫食せず、廃棄するか購入店に返品の間い合わせをする。

<https://www.fsis.usda.gov/recalls-alerts/boars-head-provisions-co--expands-recall-ready-eat-meat-and-poultry-products-due>

- ・ 妊婦、65 歳以上の人、免疫機能が低下している人など、リステリア症の罹患リスクが

高い人は、デリカカウンターで薄切りされた食肉製品で、喫食の直前に内部温度が華氏 165 度 (約 74°C) になるまでの加熱、または中まで十分に熱くなるまでの加熱が施されていない製品については、いかなる場合も喫食すべきでない。

- 薄切りのデリミートに接触した可能性がある冷蔵庫、保存容器およびその他の様々な物の表面を洗浄する。
- デリカカウンターで薄切りされた食肉を喫食し、リステリア症の症状を呈している人は医療機関に連絡する。
- 回収対象の食肉製品の供給を受けた食品事業者は、洗浄や消毒などの対策を強化し、デリカカウンターで薄切りされた開封済みの食肉やチーズは廃棄すべきである。食品事業者はまた、米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) の「デリ (調理済み食品売り場) におけるリステリア (*L. monocytogenes*) 汚染対策のための最良実施規範」(以下 Web ページ参照) を遵守すべきである。

<https://www.fsis.usda.gov/guidelines/2023-0004>

(食品安全情報 (微生物) 本号、No.17/2024 (2024.08.21)、No.16/2024 (2024.08.07)、No.15/2024 (2024.07.24) US CDC 記事参照)

3. デリカカウンターで薄切りされた食肉製品に関連して複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイク (2024 年 8 月 28 日付更新情報)

Listeria Outbreak Linked to Meats Sliced at Delis

August 28, 2024

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/delimeats-7-24.html>

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/details-delimeats-7-24.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/listeria/outbreaks/map-delimeats-7-24.html> (Map)

米国疾病予防管理センター (US CDC)、複数州の公衆衛生・食品規制当局および米国農務省食品安全検査局 (USDA FSIS) は、複数州にわたり発生しているリステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

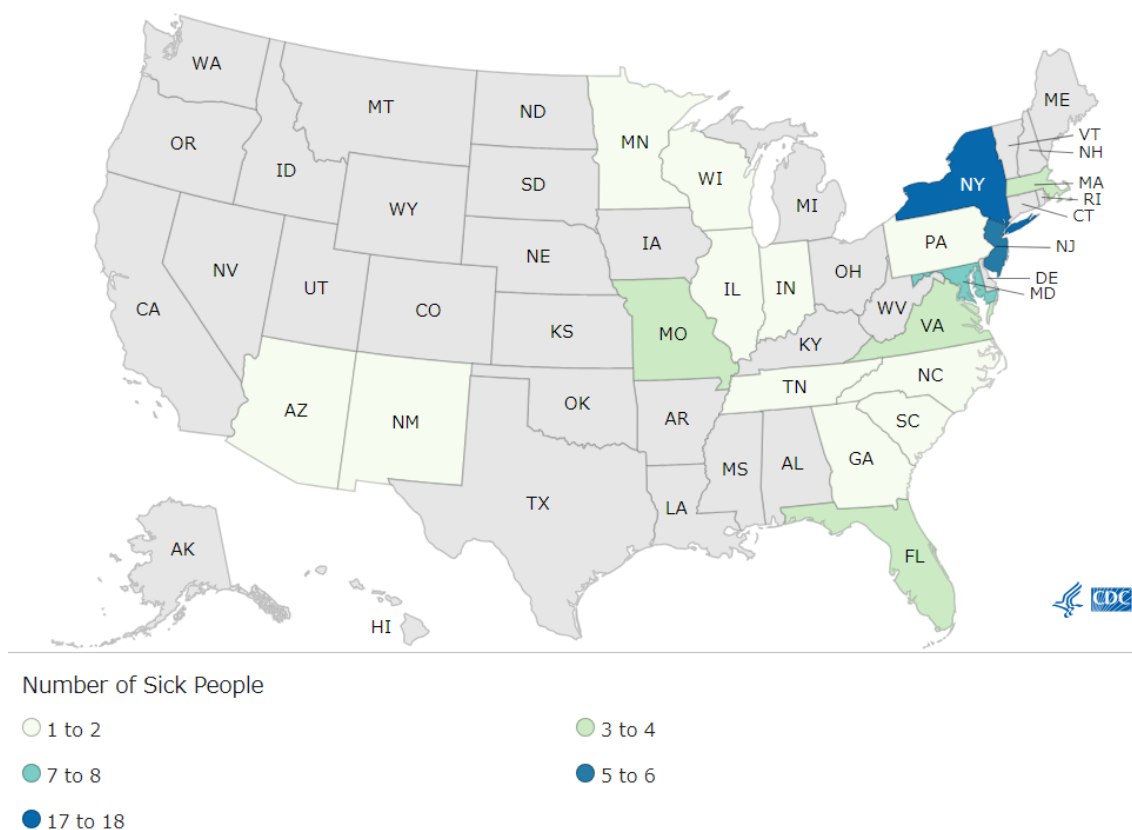
疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、Boar's Head ブランドのレバーソーセージなど、デリカカウンターで薄切りされた食肉製品がリステリアに汚染されており、本アウトブレイクの感染源となっていることを示している。

○ 疫学データ

2024 年 8 月 8 日付更新情報以降に *L. monocytogenes* アウトブレイク株感染患者が新たに 14 人および死亡者が 6 人報告され、8 月 27 日時点で患者数は 18 州からの計 57 人とな

っている（図）。患者由来検体は2024年5月29日～8月16日に採取された。情報が得られた患者57人は全員が入院した。患者1人が妊娠中に感染したが回復し、妊娠は維持された。死亡者は計9人となり、州別内訳は、イリノイ（1人）、ニュージャージー（1）、バージニア（1）、フロリダ（1）、テネシー（1）、ニューメキシコ（1）、ニューヨーク（1）およびサウスカロライナ（2）である。

図：リステリア (*Listeria monocytogenes*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2024年8月27日時点の計57人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前1カ月間に喫食した食品など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである（nは当該情報が得られた患者の数）。

年齢 (n=57)	年齢範囲：32～95歳 年齢中央値：77歳
性別 (n=57)	51%：女性 49%：男性

人種 (n=52)	75% : 白人 17% : アフリカ系アメリカ人または黒人 4% : アジア系 4% : その他
民族 (n=48)	94% : 非ヒスパニック系 6% : ヒスパニック系

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 カ月間に喫食した食品に関する聞き取り調査を行っている。患者は、デリカカウンターで薄切りされた様々な食肉製品の喫食を報告している。聞き取りが可能であった患者 44 人のうち 41 人 (93%) がデリミートの喫食を報告した。この 41 人のうち、39 人 (95%) は喫食したデリミートがデリカカウンターで薄切りされたものであったことを報告した。デリミートの喫食を報告した 41 人はレバーソーセージの喫食に関する質問に回答しており、このうち 25 人 (61%) がデリカカウンターで薄切りされたレバーソーセージの喫食を報告し、19 人は Boar's Head ブランドのレバーソーセージであったことを報告した。これらのデリミートは、様々なスーパーマーケットおよび食料品店のデリで薄切りされていた。

○ 公衆衛生上の措置

CDC は、回収対象のデリミート製品を喫食しないよう注意喚起している。CDC はまた、妊婦、65 歳以上の人および免疫機能が低下している人に対し、デリミートの喫食を避けるか加熱してから喫食するよう繰り返し助言を行っている。

(食品安全情報 (微生物) 本号、No.17/2024 (2024.08.21) 、No.16/2024 (2024.08.07) 、No.15/2024 (2024.07.24) US CDC 記事参照)

4. 小規模飼育の家禽類との接触に関連して複数州にわたり発生しているサルモネラ (*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) 感染アウトブレイク (2024 年 8 月 29 日付更新情報)

Salmonella Outbreaks Linked to Backyard Poultry

Posted August 29, 2024

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-05-24/index.html>

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-05-24/details.html> (Investigation Details)

<https://www.cdc.gov/salmonella/backyardpoultry-05-24/map.html> (Map)

米国疾病予防管理センター（US CDC）および複数州の公衆衛生当局は、複数州にわたり発生しているサルモネラ（*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*）感染アウトブレイクを調査するため様々なデータを収集している。

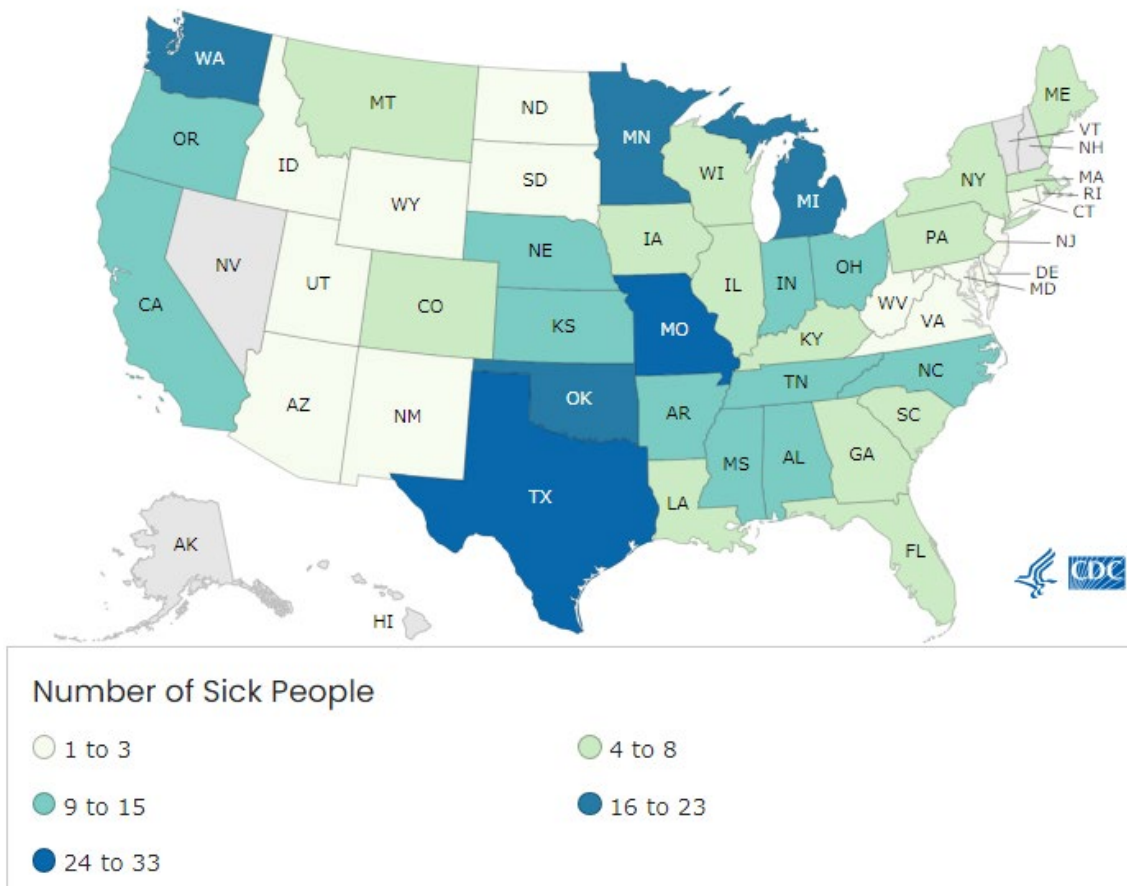
疫学・追跡調査および検査機関での検査によるデータは、小規模飼育の家禽類との接触が本アウトブレイクの感染源であることを示している。

○ 疫学データ

2024年8月19日までに、サルモネラ（*S. Altona*、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、*S. Johannesburg*、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*）アウトブレイク株のいずれかに感染した患者が45州から計409人報告されている（図）。患者の発症日は2024年2月18日～8月5日である。情報が得られた患者321人のうち102人（32%）が入院した。死亡者は報告されていない。

図：サルモネラ（*Salmonella* Altona、*S. Cerro*、*S. Enteritidis*、*S. Indiana*、*S. Infantis*、

S. Johannesburg、*S. Mbandaka*、*S. Typhimurium*) 感染アウトブレイクの居住州別患者数 (2024 年 8 月 19 日時点の計 409 人)



公衆衛生当局は、患者の年齢・人種・民族・その他の人口統計学的特徴、および患者が発症前 1 週間に接触した動物など、患者に関する様々な情報を多数収集している。これらの情報は、アウトブレイク調査で感染源を特定するための手掛かりとなる。

本アウトブレイクの患者について現時点で得られている人口統計学的情報は以下の通りである (n は当該情報が得られた患者の数)。

年齢 (n=408)	年齢範囲：1 歳未満～93 歳 年齢中央値：33 歳 5 歳未満：27%
性別 (n=403)	56%：女性 44%：男性

人種* (n=286)	93% : 白人 2% : アフリカ系アメリカ人または黒人 2% : アメリカ先住民またはアラスカ先住民 1% : アジア系 2% : 複数の人種
民族 (n=294)	83% : 非ヒスパニック系 17% : ヒスパニック系

* 四捨五入により合計値は 100% になっていない。

各州・地域の公衆衛生当局は、患者が発症前 1 週間に接触した動物に関する聞き取り調査を行っている。聞き取りが実施された患者 267 人のうち 178 人 (67%) が小規模飼育の家禽類との接触を報告した。

○ 追跡調査によるデータ

情報が得られた患者 166 人のうち 87 人 (52%) が、発症前に家禽類を購入または入手していたことを報告した。患者はこれらの家禽類の入手先として、小売店、孵化場、地元の農場、フリーマーケット、友人または親戚を報告した。患者が購入場所として報告した小売店には複数の孵化場が家禽類を供給していた。本アウトブレイクのすべての患者に共通する単一の供給業者は特定されていない。

○ 検査機関での検査データ

ミネソタ州、オハイオ州、ユタ州およびウィスコンシン州で実施された調査において、家禽類由来検体、および孵化場から小売店舗に家禽類が出荷される際に使用された輸送箱内部からの検体 (中敷き、敷き藁など) が採取された。WGS (全ゲノムシーケンシング) 解析により、これらの検体から分離された *S. Altona* 株、*S. Cerro* 株、*S. Mbandaka* 株および *S. Enteritidis* 株が、各血清型の患者由来検体から分離された株とそれぞれ同一であることが示された。

WGS 解析の結果、患者由来 344 検体、環境由来 42 検体および家禽由来 1 検体から分離されたサルモネラ株については抗生物質耐性の存在は予測されなかったが、別の患者由来 62 検体および環境由来 2 検体では、アモキシシリン/クラブラン酸 (0.4%)、アンピシリン (0.7%)、セフォキシチン (0.4%)、セフトオフル (0.7%)、セフトリアキソン (0.7%)、クロラムフェニコール (0.2%)、シプロフロキサシン (10.2%)、ゲンタマイシン (2.0%)、カナマイシン (0.2%)、ナリジクス酸 (10.0%)、ストレプトマイシン (2.0%)、スルフィソキサゾール (1.6%) およびテトラサイクリン (2.4%) のうちの 1 種類以上の抗生物質への耐性が予測された。抗生物質耐性に関する詳細情報は、CDC の全米抗菌剤耐性モニタリングシステム (NARMS) の以下の Web ページから入手可能である。

<https://www.cdc.gov/narms/index.html>

サルモネラ症患者のほとんどは抗生物質を使用せずに回復する。しかし、抗生物質が必要になった場合、本アウトブレイクの一部の患者については、一般的に推奨される抗生物質による治療が困難になる可能性があり、別の抗生物質の選択が必要になることがある。

○ 公衆衛生上の措置

CDC は、小規模飼育の家禽類を取り扱う際は衛生手順（以下 Web ページ参照）を遵守し、健康被害を防ぐよう注意喚起を行っている。

<https://www.cdc.gov/healthy-pets/about/backyard-poultry.html>

CDC および州の当局は家禽類を販売する孵化場や小売店と協力し、家禽類を初めて所有する人への啓発およびサルモネラの拡散防止に取り組んでいる。

（食品安全情報（微生物）No.14/2024（2024.07.10）、No.11/2024（2024.05.29）US CDC 記事参照）

● 欧州委員会健康・食品安全総局（EC DG-SANTE: Directorate-General for Health and Food Safety）

https://commission.europa.eu/about-european-commission/departments-and-executive-agencies/health-and-food-safety_en

食品および飼料に関する早期警告システム（RASFF : Rapid Alert System for Food and Feed）

https://food.ec.europa.eu/safety/rasff_en

RASFF Portal Database

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/search>

Notifications list

<https://webgate.ec.europa.eu/rasff-window/screen/list>

2024年8月22日～9月9日の主な通知内容

警報通知 (Alert Notification)

アイルランド産サバのリステリア、ギリシャ産鶏肉製品のサルモネラ属菌、ラトビア産魚製品のリステリア (*L. monocytogenes*)、鶏肉製品のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、トルコ産ハルバのサルモネラ (*S. Telelkebir*)、ベルギー産スモーク鴨むね肉のリステリア (*L. monocytogenes*)、ハンガリー産冷凍鴨肉(内臓除去済み)のサルモネラ (*S. Typhimurium*)、イタリア産チーズのリステリア (*L. monocytogenes*)、フランス産マカロンのサルモネラ、ポーランド産サーモン(グラブラックス)のリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産鶏肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*) など。

注意喚起情報 (Information Notification for Attention)

ウクライナ産冷蔵鶏肉のサルモネラ (*S. Infantis*)、イタリア産二枚貝の大腸菌、トルコ産イヌ用餌のサルモネラ属菌、フランス産 ready-to-eat サラダのリステリア (*L. monocytogenes*)、米国産ピスタチオのサルモネラ属菌、オランダ産イガイのサルモネラ、ブルガリア産活二枚貝の大腸菌 (3/5 検体陽性 (230 MPN/100g))、イタリア産食用卵のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、リトアニア産の生鮮ブロイラー肉のサルモネラ (*S. Enteritidis*)、オーストリア産ソーセージのリステリア (*L. monocytogenes*)、ポーランド産の生鮮鴨脚肉のサルモネラ属菌 (1/5 検体陽性)、イタリア産アイスバーゲタスのリステリア (*L. monocytogenes*)、イタリア産(ポルトガルで採捕)二枚貝 (*Ruditapes philippinarum*) のノロウイルス (GII)、フランス産の生乳チーズのリステリア (*L. monocytogenes*) など。

フォローアップ喚起情報 (Information Notification for follow-up)

ベルギー産鶏肉(串焼き用)のサルモネラ (*S. Agona*)、ギリシャ産ノンアルコール飲料(ビタミンウォーター)の糸状菌類、ベルギー産有機大豆搾油粕のサルモネラ (*S. Farakan*)、イタリア産有機菜種搾油粕のサルモネラ (*S. Durban*、*S. Wilhelmsburg*)、デンマーク産菜種搾油粕のサルモネラ (*S. Rissen*) とサルモネラ属菌など。

通関拒否通知 (Border Rejection Notification)

メキシコ産魚粉のサルモネラ属菌、中国産トウガラシのサルモネラ、ウクライナ産菜種ミールのサルモネラ (*S. Senftenberg*)、インド産ゴマ種子のサルモネラ属菌など。

● 欧州食品安全機関 (EFSA: European Food Safety Authority)

<https://www.efsa.europa.eu/en>

データに関する諮問グループ (AGoD) の 2023 年次報告書

2023 Annual Report of the Advisory Group on Data

Published: 12 April 2024

<https://efsa.onlinelibrary.wiley.com/doi/epdf/10.2903/sp.efsa.2024.EN-8760> (報告書 PDF)

<https://www.efsa.europa.eu/en/supporting/pub/en-8760>

欧州食品安全機関 (EFSA) のデータに関する諮問グループ (AGoD) は、2023 年の活動の結果をまとめた報告書を発表した。データに関する諮問グループの任務は、欧州域内の食品安全の向上および栄養の改善にデジタル化がどのように役立つかを証明することである。2023 年に諮問グループは、データに関連する優先分野について関係者を対象に調査を実施した。諮問グループおよびそのサブグループは、複数の重要な分野における新しいプロジェクト計画を策定して優先順位を決定し、諮問グループの主導により多国間で進められているデータプロジェクトの進捗状況をモニタリングした。諮問グループは、現行のデータ戦略について欧州委員会 (EC) と情報交換を行い、デジタル化の重要性と機会、および欧州の食品安全データエコシステムにおける人工知能 (AI) の役割について議論した。

● アイルランド保健サーベイランスセンター (HPSC Ireland: Health Protection Surveillance Centre, Ireland)

<https://www.hpsc.ie>

アイルランドの胃腸疾患および人獣共通感染症 (リステリア症、2022 年)

Gastroenteric and Zoonotic Diseases in Ireland, 2022: Listeriosis in Ireland

January 2024

[https://www.hpsc.ie/a-](https://www.hpsc.ie/a-z/gastroenteric/salmonellosis/surveillancereports/Zoonotic%20and%20IID%20Slideset)

[z/gastroenteric/salmonellosis/surveillancereports/Zoonotic%20and%20IID%20Slideset](https://www.hpsc.ie/a-z/gastroenteric/salmonellosis/surveillancereports/Zoonotic%20and%20IID%20Slideset)
[Trends%20to%20the%20end%20of%202022_v0.4%20\(002\).pdf](https://www.hpsc.ie/a-z/gastroenteric/salmonellosis/surveillancereports/Zoonotic%20and%20IID%20Slideset) (各種データの PDF)

Annual Reports (Listeriosis)

<https://www.hpsc.ie/a-z/gastroenteric/listeriosis/epidemiologicaldata/annualreports/>

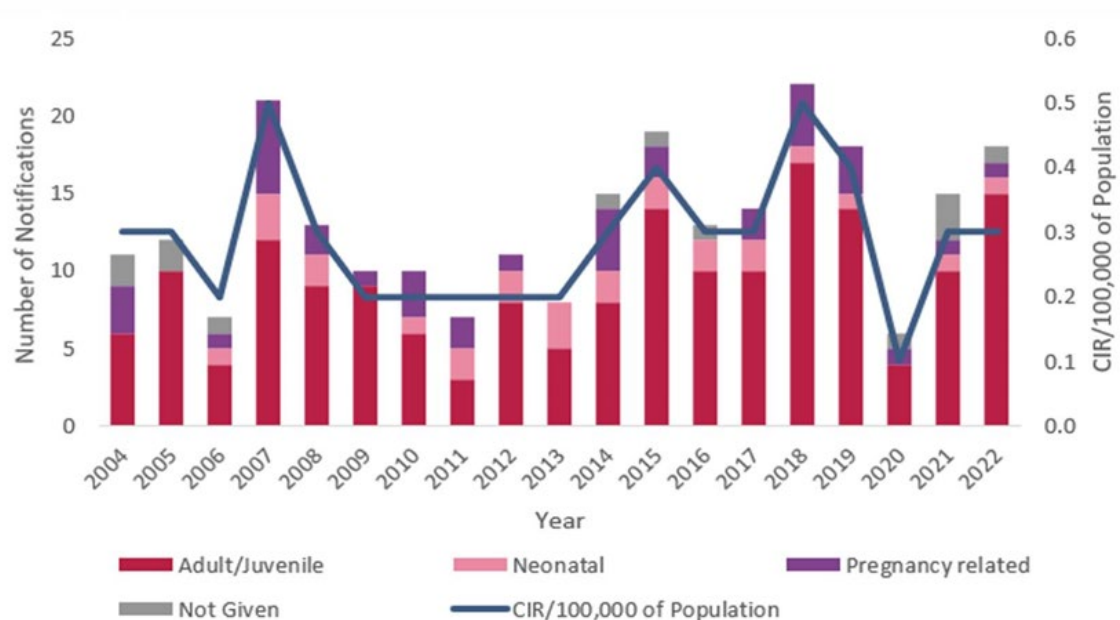
アイルランド保健サーベイランスセンター (HPSC Ireland) は、「アイルランドの胃腸疾患および人獣共通感染症、2022年 (Gastroenteric and Zoonotic Diseases in Ireland, 2022)」を発表した。このうち、リステリア症に関する内容の一部を以下に紹介する。

アイルランドのリステリア症：2004～2022年の傾向

リステリア症の人口10万人あたりの粗罹患率（CIR）は、近年（2014～2019年）は0.3～0.5であったが、2020年には0.1に低下した（図1）。2022年の罹患率は新型コロナウイルス感染症（COVID-19）パンデミック前のレベルに戻り、CIRは0.3であった。報告患者に占める妊娠関連患者の割合は、2021年が7%および2022年が6%で、2019年および2020年は17%であった。

図1：アイルランドのリステリア症：2004～2022年の傾向

Listeriosis in Ireland: trends, 2004-2022



Data source: Computerised Infectious Diseases Reporting System (CIDR) 25/09/2023

アイルランドのリステリア症：2022年の概要

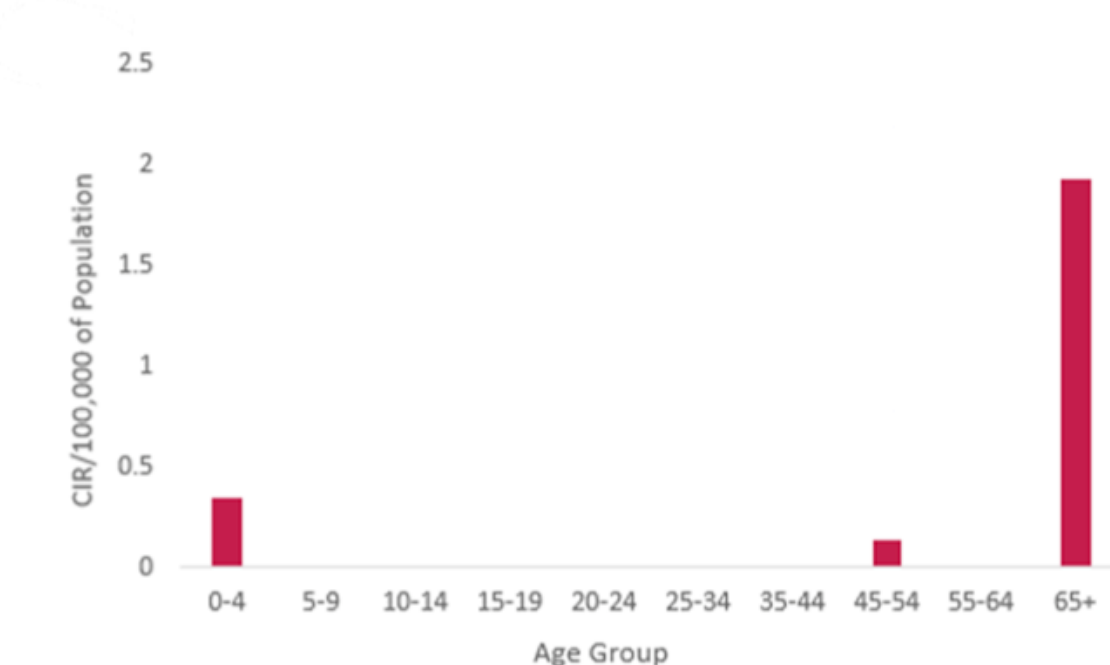
- ・ 2022年はリステリア症患者18人が報告され、人口10万人あたりの罹患率は0.3であった（図1）。
- ・ リステリア症報告患者は2020年（6人）に減少したが、2021年および2022年には例年のレベルに戻った（図1）。高齢者および免疫機能が低下している人はリステリア症に関して高リスクであり、COVID-19パンデミック対策でも外出を控えるよう特に強く呼びかけられていた。これらのデータは、社交生活や外食とリステリア症との間に

関連があることを示唆している。

- 2022 年のリステリア症患者の罹患率が最も高かった年齢層は 65 歳以上であった (図 2)。
- 2022 年の妊娠関連リステリア症患者は、2020 年および 2021 年と同じく 1 人であった (図 1)。妊娠関連患者がこのように少数であることの一因は、妊娠中に高リスク食品 (低温殺菌の乳製品など) を喫食するリスクが周知されていることと考えられる。
- 2022 年に最も多く特定された血清型は依然として 4b であった。
- 2022 年のリステリア症患者の罹患率は、欧州連合/欧州経済領域 (EU/EEA) の平均罹患率の約 2 分の 1 であった。
- 公衆衛生事例の探知およびアウトブレイクや食品関連インシデントの調査を支援するため、国立サルモネラ・赤痢・リステリアリファレンス検査機関 (NSSLRL) に全リステリア分離株の詳細なタイピングを依頼することが推奨されている。

図 2 : アイルランドのリステリア症 : 2022 年の年齢層別の人口 10 万人あたりの粗罹患率 (CIR)

Listeriosis in Ireland: age specific incidence rates, 2022



Excludes cases where age was unknown (n=1)

Data source: Computerised Infectious Diseases Reporting System (CIDR) 25/09/2023

-
- ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR: Bundesinstitut für Risikobewertung)
<https://www.bfr.bund.de/>

欧州の食品安全のための連携 — 欧州食品安全機関 (EFSA) の加盟各国における Focal Point (窓口組織) の役割

Together for safe food in Europe - The role of the EFSA Focal Point

26 March 2024

<https://www.bfr.bund.de/cm/343/together-for-safe-food-in-europe-the-role-of-the-efsa-focal-point.pdf> (PDF 版)

<https://www.bfr.bund.de/en/together-for-safe-food-in-europe-the-role-of-the-efsa-focal-point-315260.html>

欧州連合 (EU) 域内の物の自由な流通は、多様な食品の製造・加工を可能にしている。欧州全域の食品安全を向上させるためには、EU 加盟各国と EU の各機関との相互協力が必須である。この相互協力により、フードチェーンで起こり得るリスクについて加盟各国と欧州食品安全機関 (EFSA) の知見が共有され、消費者保護の強化につながる。

この相互協力において、EFSA の Focal Point (窓口組織) が中心的な役割を果たしている。加盟各国における EFSA の Focal Point は、各国の当局と EFSA をつなぐコンタクトポイントである。

ドイツにおける EFSA の Focal Point は、ドイツ連邦リスクアセスメント研究所 (BfR) に拠点が置かれている。BfR は、その組織体制、目的および任務について、本記事 (上記 Web ページリンク参照) において FAQ 形式で紹介している。

-
- ProMED-mail (The Program for Monitoring Emerging Diseases)
<https://promedmail.org>

コレラ、下痢、赤痢最新情報 (43) (42) (41) (40)

Cholera, diarrhea & dysentery update (43) (42) (41) (40)

31, 30, 28 & 26 August 2024

コレラ

国名	報告日	発生場所	期間	患者数	死亡者数
フランス(およびコモロ連合)	8/29	コモロ連合アンジュアン島 (フランス領マイヨット島近くの島)	2月上旬～ 7/27	累計 10,193	
		フランス領マイヨット島*	3/18～7/12	(確定)214 (疑い)7	7**
		マイヨット島 Kirsoni	4/22～5/18	58	2
スーダン	8/19	全国	報告日前の数 週間	354	22
		全国	1/1～7/28		78
イラク	8/22	スレイマーニーヤ		(疑い)8	

* 全患者のうち 22 人が島外感染患者

** 確定 4 人、疑い 3 人

食品微生物情報

連絡先：安全情報部第二室